



のがき 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和

2023年9月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!



中小企業光熱費高騰緊急対策助成金がスタート

杉並区は区内中小事業者に対し、光熱費の高騰による経営への影響を緩和し、経営の安定化を図るため、光熱費(電気・ガス)の一部を助成します。申請受付は10月1日から開始します。

中小企業への光熱費支援 党区議団の公約が実現へ

党区議団は昨年、区内の中小企業に向けた光熱費の高騰分を支援する制度の創設を繰り返し求めてきました。

事業の概要

- ◆対象経費
今年4月～9月使用分(最大6カ月分)の光熱費
- ◆対象事業所
区内の事業所及び自宅兼事業所
- ◆申請期間
令和5年10/1～12/31
- ◆申請方法
オンラインか郵送
- ◆問合せ先
杉並区中小企業光熱費高騰緊急対策助成金コールセンター(9/15～開始)

電話 0120-270-094

事業所の形態と助成額

4～9月の電気 ガス料金の合計	助成金額	
	事業所	自宅兼事業所
60万円未満	6万円	3万円
60万円以上 90万円未満	9万円	4万5千円
90万円以上 120万円未満	12万円	6万円
120万円以上	15万円	7万5千円

これを受け、岸本区長は5月の記者会見で制度を創設すると発表しており、制度の詳細が9月に示されました。

申請はオンラインか郵送です。下のQRコードをスマートフォンで撮影すると、特設サイトにアクセスできます。サイトからは助成金額のシュミレーションもできます。

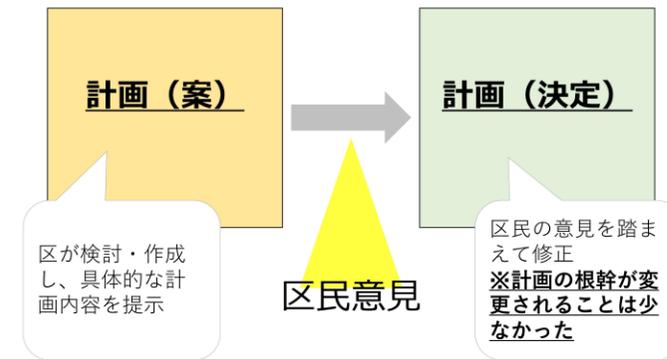
基本的には業種を問わず申請できますが、不明な点は特設サイトをご覧ください。9月15日から設置されるコールセンターまでお問い合わせください。

特設サイト

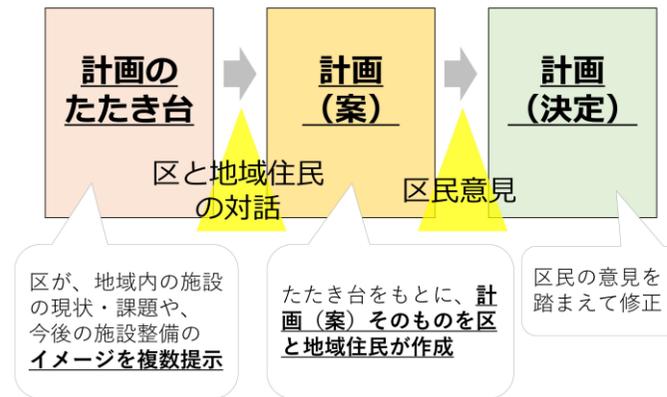


施設再編は計画段階から住民参加を位置づけて

計画決定のプロセス(現状)



計画決定のプロセス(今後考えられるかたち)



▲計画決定のプロセスについて、現状と今後考えられるかたち(杉並区の資料より)

を求める多数の要望が寄せられ、現在までに54件もの陳情が寄せられています。一つの計画に対して、長期間、これほど多くの見直し意見が寄せられることは前例がありません。計画が住民合意なく進められてきたことを表しています。

児童館・ゆうゆう館の再編 問題の検証はこれからの課題

計画の進め方が見直されることは前進ですが、一方で児童館やゆうゆう館の廃止方針による問題への検証は不十分であり、これからの課題です。

児童館やゆうゆう館は、杉並区が長年かけ住民とともに作り上げてきた施設です。地域における子育てや高齢者の活動の拠点としても重要な役割を果たしてきました。

これらの施設のあり方について、現場の職員、地域住民、学識経験者も含めた「施設のあり方の再検討」が必要です。区は計画の検証のまとめを発表し、今年度中に計画改定に合わせ検証の内容を反映するとしています。

8月12日、杉並区は施設再編を考えるシンポジウム～区長とともに考えよう「未来へつなぐ公共施設のカタチ」～を開催しました。

シンポジウムでは、区内7地域で行われた住民との意見交換会を経て、これまでの区立施設再編整備計画(以下、計画という)の検証や今後について議論がされました。

意見交換会やシンポジウムで、区はこれまでの計画の進め方に誤りがあったことを認め、今後の区立施設のあり方については、計画の策定段階から住民参画のもとで検討することを明らかにしました。

見直し求める54件の陳情

これまでの計画は、行政が一方的に決めた方針を地域住民に説明するだけのもので、区民意見で見直されることは、ほとんどありませんでした。(左図上)

計画が検討された平成25年度以降、杉並区議会には計画の見直し

近いのに遠い国？ビルマ(ミャンマー)について学ぶ

国の成立から軍事政権下での国民の現状まで多彩に



ウィンチョさん、マティダさん夫妻

8月27日、井草地域区民センターで「ビルマ(ミャンマー)ってどんな国？」をテーマに学習会を開催し、37名が参加しました。

ミャンマーでは2021年2月に軍事クーデターが発生し、国軍は今も罪のない市民に対して無差別な虐殺や不当な拘束を続けています。講師のウィンチョさん、マティダさん夫妻は1988年に軍事政権下のミャンマーでアウンサンスーチーさんらと民主化を求める学生運動に参加していました。その後、

1989年に来日し再会、結婚しました。日本から祖国の民主化や日本に来るミャンマーの若者支援などに取り組んでいます。一緒に活動する大学院生の石川航さん(学部生時代からビルマ語やミャンマー地域研究を専攻し、クーデター発生以降、支援活動に関わる)も参加してくれました。

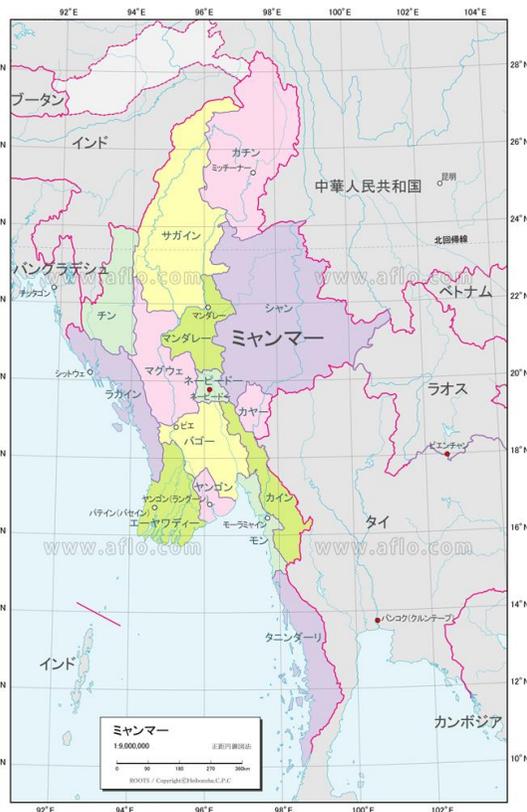
【ミャンマーの基礎情報】

国名 ミャンマー連邦共和国
 人口 5,458万人(2020年推定)
 面積 676,578km²(日本の1.8倍)
 民族 135民族とされる多民族国家
 公用語 ビルマ語
 首都 ネーピードー
 最大都市 ヤンゴン
 宗教 上座部仏教(約88%)、キリスト教(約6%)、ムスリム(約4%)

今年の8月に現地支援に

ウィンチョさんたちは支援団体と協力し、ミャンマーに食糧や医療を届けるためクラウドファンディングを実施。約300万円を資金に今年8月、石川さんが物資をタイ国境の難民キャンプに届けたと報告しました。国軍に見つかり物資は没収されるため、キャンプはかなり山間部にあります。石川さんの腕にはヒルに噛まれた痕が。クーデター後は物価高騰で米が3.5倍になり、現地では大変苦勞しているそうです。

◀ROOTS/Heibonsha.CPC/アフロより



▲現在の国旗は変えられているが、今も多くの国民が認めている1948～1974年までのミャンマー国旗。学習会の当日にウィンチョさんが持ってきてくれて展示しました。

日本のODAへの批判の声

先進国の政府が開発途上国の社会・経済発展のために行っているODA(政府開発援助)。クーデター後、欧米などはミャンマー国軍に対する制裁措置をとっていますが、日本からのODA事業がミャンマー国軍の関連企業に発注されていました。

また、自民党の麻生太郎議員の一族が経営する会社が現地に土地を購入し工場を開設。国軍から表彰を受けたそうです。「国軍関連の企業に利益をもたらすことは、ミャンマー国民が苦しくなるということだ」と批判の声が上がっているそうです。

日本政府は国軍支配下での支援はやめ、ミャンマーの民主化と真の経済発展に寄与すべきです。

先週は上荻の白山神社で秋季例大祭が行われました。台風の影響もありましたが、なんとといっても4年ぶりのお神輿に地域住民や商店街の方も盛り上がっていました。

お祭りといえば、先日近所のネパール人の女の子が素敵な民族衣装を着ていたので「素敵ですね!」と話しかけると、「ありがとうございます。」と微笑んでくれました。一緒にいた家族によると、ネパールでももうすぐお祭りだそうです。10月の「ダサイン」というお祭りが有名なようですが、彼らの言うお祭りはヒンズー教の女性のお祭り「ティージ」のここのようです。毎年、素敵な衣装を着た女性たちが写真を撮り合ったり、音楽をかけ踊ったりして楽しんでいます。

あきこの部屋



▲近所のネパールの子

現行の保険証の廃止とマイナンバーの強制やめて!

署名にご協力を!

署名用紙をお届けしますので、お気軽にご連絡ください。回収にも伺います。



しんぶん赤旗 配達員募集!

上荻・天沼地域でしんぶん赤旗日刊紙を配達していただける方を募集しています。興味のある方は野垣かお近くの党員までお声かけください。

- 自転車の場合で30分程度
□週1日～でもOK!
- 年齢や性別は問いません。
□最初は丁寧にレクチャーします!